

新発田市 令和元年度 第7回定例記者会見

1 日 時 令和元年 10 月 3 日 (木) 午前 11 時 ~

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典に「しばた台輪」が参加

天皇即位礼正殿の儀 市観光施設無料開放

食まち新発田ラーメン縁日

全国うまいもん横丁

○しばた食の循環スマホスタンプラリー

○菅谷不動尊 柴燈護摩供 火渡り修行

○すがたにマルシェ新米まつり

新潟県スポーツ推進委員大会の開催

大倉喜八郎講演会

まちなかハロウィンパーク

水道まつり

かわいいデコレーション肉まんを作ろう！

イクネスしばたこどもセンター子育て講座「パクパクおいしい幼児食」

読書週間講演会「ベストセラー作家が語る図書館活用術」

新発田市立図書館企画展「ラグビー祭 ~ボールに夢をのせて~」

めざせ 100 彩「紅葉ウォーク」

20 万歩チームチャレンジ

新発田阿賀北地区更生保護サポートセンターの開設

新発田市消防団総合消防訓練

小林かいちと「日本のアールで・デコ」展

全国「花嫁人形」合唱コンクール

新発田市美術展覧会・ジュニア展

市民茶会

歴史図書館秋季企画展「本能寺の変を巡るふたつのしばた」

新発田バンドフェス 2019

秋季趣味の展示会

らんちゅう展

秋を彩るバレエ・日舞・フラダンス

秋の民謡のおどり

あいさつ

冒頭に、大変悲しい話題に触れなければなりません。9月26日の夕方、当市の小学2年生の男子児童が、塾帰りの際に交通事故に遭われて、尊い命を失ったということです。

秋の全国交通安全運動を実施中ということもありましたので、担当課には市民の皆さんにしっかりと注意喚起をするよう伝えるとともに、教育委員会では子どもたちの心のケアについて、しっかりと対応するように指示をしたところです。

一方で、日本中でたいへん熱くなっている話題があります。ラグビーのワールドカップです。その様子を見て奇跡というものは起きるのだと、改めてそう思っています。

アイルランドに勝利した後の日本代表のキャプテンのリーチマイケルの挨拶が非常にクールでした。彼の「勝ちたいというメンタリティと勝てるという自信が奇跡を起こす」という言葉は聞いていて心が震えました。

新発田はラグビーが盛んな地でもあります。新発田高校が以前、全国大会に出場しておりますし、かつて新発田農業高校女子ラグビーに所属していた山口瑠花選手は、現在も全日本の選手として活躍しているそうです。

当市で進めているスポーツ&カルチャーツーリズム事業で、各大学にお願いに行って、関東学院大学や法政大学の試合が市内で行われましたし、トップリーグではセコム、クボタ、トヨタの皆さんが当市に来て試合をやっ

ていただいています。

新発田は意外とラグビー熱の盛んなところでもあります。そうしたことから、4年位前からキャンプ地に指定してもらいたいということで、秩父宮にある日本ラグビーフットボール協会まで何度か足を運びました。

キャンプ地は太平洋側だけで日本海側にはないとのことであつたので、だからこそ誘致したいとお願いし、話としては結構いいところまで行ったのですが、残念ながら叶いませんでした。

あれが成功していれば、ワールドカップの熱気が新発田に伝わり、盛り上がったのではないかとアイルランド戦の勝利以降、感じています。今後も、スポーツ&カルチャーツーリズム事業の取組をしっかりと進めて行こうと思っていますところでは。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典に、しばた台輪が参加」および「天皇即位礼正殿の儀 市観光施設無料開放」について

天皇陛下ご即位に伴う慶祝行事の話題を2つお知らせします。

1つ目の話題は、11月9日(土)に都内の皇居前広場で行われる、「天皇陛下ご即位をお祝いする国民祭典」に、全6町内の「しばた台輪」が参加することになりました。

今回の参加は、主催側から出演依頼をいただいたもので、平成2年の平成天皇のご即位に始まり、同天皇のご即位10年、ご即位20年に続き、4回目となります。

当市の「しばた台輪」は、祭典の第1部「奉祝まつり」に参加します。「奉祝まつり」には、全国から選りすぐられた郷土芸能やお神輿が賑やかに繰り出し、国民を代表として祭典を盛り上げることとなります。

祭典当日は、皇居前広場に関係者のほか、全国からの一般参加者など6万人もの方が集まり、お祝いをすると聞いています。

そのような中で、地面を打ち鳴らす勇壮な「あおり」と新発田の男衆による威勢の良い「木遣り」を披露できることは、誠に喜ばしいことであり、「新潟県新発田市」の名を知ってもらい、またとないチャンスとなります。

毎夏、ここ新発田の地で、多くの市民や観光客の皆さんを魅了している「しばた台輪」ですが、この時代の節目にあっては、皇居前広場で存分にパフォーマンスを披露し、祭典を精一杯、盛り上げていきたいと思っています。

2つ目の話題は、10月22日(祝)に「天皇陛下即位礼 正殿の儀」が行われます。これに合わせて、当市の観光施設を無料開放し、対象施設は市島邸、旧県知事公舎、刀剣伝承館・天田昭次記念館の3施設です。

今年5月1日にも、観光施設の無料開放を行いました。好評であったと聞いています。当日は、国民の祝日となりますし、ちょうど紅葉なども美しい頃ではないかと思えます。

ぜひこの機会に、ご家族やご友人などをお誘いいただき、市内はもちろんのこと、市外からも多くの皆さんに各施設を訪れてもらいたいと思えます。

次に、「食まち新発田ラーメン縁日」について

新発田にいながらにして、他地域の「食」をお楽しみいただけるイベントを紹介します。

10月26日(土)・27日(日)の2日間にわたり、ヨリネスしばた札の辻広場を会場に「食まち新発田ラーメン縁日」を開催します。

これは、新潟拉麺協同組合の主催によるもので、県外の有名店4店舗のほか、県内からも人気のラーメン店が新発田に集います。

昨年は、4千人もの来場者があり、会場に集まったラーメン好きの舌を満足させた人気のイベントです。ここぞとばかりに、何杯ものラーメンを平^{たい}らげてしまった方も多くいたと聞いています。

新発田市内にも美味しいラーメン店は数多くありますが、今回参加いただく各店の味は、遠く足を運ぶことなくして、味わうことのできないものばかりです。

この他にも、会場内には、綿菓子や唐揚げなどの出店も並び、楽しく縁日気分を味わっていただくことができます。

また、同日は中心商店街の店舗で子どもたちが合言葉を唱え、お菓子がもらえる「まちなかハロウィンパーク」などのイベントも開催します。

当日、ヨリネスしばたと中心商店街にお越しになる皆さんには、できましたら、ハロウィンの衣装などをしていただき、このイベントと一緒に盛り上げてもらいたいと思えます。

次に、「全国うまいもん横丁」について

もう一つ、全国各地の「食」を堪能できるイベントを紹介します。

昨年は、市内外から 2 万人もの多くのお客様にご来場いただきました「全国うまいもん横丁」は、今年で開催で 50 回目という節目を迎えます。

今年も、全国各地から自慢の逸品が集結するほか、おなじみの駅弁や空弁、話題のお菓子を集めたスイーツの数量限定販売など、盛りだくさんの内容となっており、100 店舗以上の出店を予定しています。

毎年人気のスタンプラリーもリニューアルし、さらにお楽しみいただける企画となっているとのことです。

「食まち新発田ラーメン縁日」と併せ、「食欲の秋」にぴったりのイベントに足を運んでいただきたいと思います。

次に、「しばた食の循環スマホスタンプラリー」について

当市で推進する「食の循環によるまちづくり」について、楽しみながら理解を深めてもらうため、スマートフォンを使ったスタンプラリーを行うことにいたしました。

「食の循環によるまちづくり」に本格的に取り組み始めてから 10 年以上になり、これまでも市を挙げて、関連するさまざまな取組やイベントを数多く開催してきました。

しかし、市民一人ひとりの日々の生活の中に、「食の循環」の考え方が、今一つ浸透していないのが実情です。

そこで、改めて市民の皆さんに、毎日の「食」について目を向けてもらい、「食」が、ふるさとの産業振興や環境保全、市民の健康づくり、人づくりなど、あらゆる分野に関連することを知ってもらうため、この取組を行うことにいたしました。

スタンプラリーには、お持ちのスマートフォンを使い、アプリをダウンロードしてもらうことで、気軽に参加することができ、内容としては、「食の循環」関連イベントに参加して入手できるスタンプを集めて、景品の応募ができるというものです。

実施期間は、10月1日から来年3月1日までです。ぜひ、多くの方に参加いただき、ゲーム感覚で楽しみながら、「食の循環」について考えてもらう、きっかけにしていきたいと思えます。

次に、「菅谷不動尊 柴燈護摩供 火渡り修行」および「すがたにマルシェ新米まつり」について

10月13日（日）に、菅谷不動尊を会場に火渡り修行を行います。

これは、阿賀北地域で活動する6つの青年団体が構成している「阿賀北青年ネットワーク」による地元PR事業として行うものです。

通常、菅谷不動尊の火渡り修行は、毎年4月28日に行っていますが、同ネットワークと菅谷寺が連携し、特別に開催するものです。

屋外で盛大な火を焚く、柴燈護摩供は、家内安全や五穀豊穰などを祈願するもので、大々的に行う寺院は数少なく、阿賀北地域では菅谷寺でのみ行われています。年に2回もこの供養が行われることは、滅多にありません。

また、同日になりますが、菅谷コミュニティセンターを会場に、菅谷地区で収穫した農産物を取りそろえ、「すがたにマルシェ」を開催します。

菅谷産の新米コシヒカリ、野菜のほか、菅谷りんごを入れた豚汁や「菅谷りんごタピオカジュース」など、地元の秋の味覚が勢ぞろいします。

加えて、ユニークな内容として、三条プロレスの協力により、会場内でプロレス観戦ができるということです。

当日は、菅谷地区に訪れていただき、1日かけて、地元の自然、食、観光を存分に楽しんでいただきたいと思います。

次に、「新潟県スポーツ推進委員大会の開催」について

10月5日(土)・6日(日)の2日間わたり、県内のスポーツ推進委員の方、約250人が当市と聖籠町に集まり、研修会を開催します。

これは、日頃、生涯スポーツの普及・定着を図るため活動している、スポーツ推進委員が必要な知識と技能を身に付けるために行われているものです。

今年の大会のテーマは、「障がい者スポーツとスポーツ推進委員の関わり」だそうです。

新発田市では、障がい者スポーツの振興や障がいへの理解促進に関わる施策を展開しており、この大会が市内で開催されることは、当市のスポーツ推進委員の皆さんに更なる研鑽を積んでいただく絶好の機会であり、今後、市の取組をバックアップしていただくうえでも、期待が高まります。

参加対象には、スポーツ推進委員のほかに、各自治体のスポーツ行政担当者や生涯スポーツ関係者も含まれるとのこと。折しも、来年には、2020年東京パラリンピックの開催も控えています。

研修はもちろんですが、交流も十分に深めてもらい、ともに障がい者スポーツの振興に寄与していただきたいと考えています。

このほかの情報としては、秋も深まり、大変多くのイベントの開催を予定しています。

「読書の秋」に合わせて、図書館の上手な活用方法について講演いただく、「ベストセラー作家が語る図書館 超活用術」のほか、紅葉を楽しみながら健康づくりができる「めざせ100彩 紅葉ウォーク」を行います。

また、秋といえば、文化的行事も盛りだくさんです。落谷虹児記念館を会場に行う企画展示「小林かいちと『日本のアール・デコ』展」や「全国花嫁人形合唱コンクール」の話題があります。

さらには、市内最大の美術展覧会である「市展」や、城下町新発田の茶の湯文化を堪能いただける「市民茶会」も開催します。ほかにも、市民の皆さんが日頃の活動を披露する発表会や展示会などが多くあります。

一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田を盛り上げていただきたいと思います。